

奈良 いのちの電話

2025
春
第400号

特集 第400号記念対談

「いのち」が輝く社会をめざして

東大寺別当 橋村 公英 師 × 奈良いのちの電話協会 理事長 森岡 正宏

社会福祉法人 奈良いのちの電話協会

事務局 / 〒631-0816 奈良市西大寺本町8-27



TEL : 0742-35-0500

FAX : 0742-35-0533

e-mail : nid@nara-inochi.jp



いさがわ
率川神社三枝祭（ゆりまつり）

髪ながき少女どうまれ白百合に
額は伏せつつ君をこそ思へ

山川登美子

例祭日 6月17日

風鐸



45年前、近鉄奈良駅近くの古民家の2階の畳の部屋に、電話1台が置かれ、緊張した面持ちで電話を受けておられた姿を今でも思い出す。広報誌はタブロイド判で作られた手作りのものだったように思う。温かくてエネルギーいっぱいその誌面は「これから全国の生きることに苦しんでいる人たちの力になるんだ」という気概にあふれていた。

こうして、奈良いのちの電話のことを伝えるために、コツコツと刻まれてきた広報誌が、今号で400号を迎えることとなった。

多くの相談員の皆さん、いのちの電話に携わっておられる先生や関係者の方々のご苦勞の積み重ねであり、途切れることなく丁寧になされてきた広報誌は、地味ながら手に取った人に様々なメッセージを伝えてきた。

命を絶ってしまいたいぐらい辛いところまでいなくても、人は何かしら悩みや不安を抱えて生きている。めまぐるし

く社会環境が変わり、個を尊重するあまり、隣人がどんな人かすら知らない、クラスの仲間がどこに住んでいるのかすら知らないといった、昔のよきつながりが絶たれ、孤立した人が増えている。

そんな一人ひとりに寄り添う広報誌であつたらいい。まるで読者の隣にいるような、近い存在であつたらいい。全部の中のたった一行が心に残る存在になつたらいい。支える側の人たちにも勇気づけられる存在であつたらいい。次の500号を目指して。つながり、寄り添いながら歩き続けよう。(佳)

「いのち」が輝く社会をめざして

東大寺別当
橋村 公英 師

×

奈良いのちの電話協会 理事長
森岡 正宏

司会：協会広報委員 藤山 純一

プロフィール

橋村公英師

東大寺第224世別当、華嚴宗
管長
1956年奈良市生まれ。13歳
で得度。
龍谷大学大学院修士課程修了。
82年から東大寺の僧侶となり、
2022年から現職。

華嚴宗大本山の東大寺の大仏さまは正式には「毘盧舎那仏（びるしゃなぶつ）」と言います。毘盧舎那とはサンスクリット語で「ヴァイローチャナ=光り輝く」という意味で、あらゆる存在が時間・空間を超えて繋がりが合い、関わり合って光り輝いているという宇宙観に基づいています。すべての「いのち」が輝く社会を実現するためには、私たち一人ひとりがそれを願うことが大切で、その願いを受け入れていく機会や場を提供していくのが社会の役割、宗教の役割ではないでしょうか。



2025年1月27日（月）東大寺本坊にて

藤山 いま家庭や社会で悲惨な事件や事故が絶えませんが、この現状をどう見られていますか。

橋村 お釈迦様の教えで最初に習うのが「不殺生戒」ですから、とても残念なことです。子どもの頃に虫採りやザリガニ釣りなどをして、生き物を殺してしまったり死なせてしまったりします。そういう時に心の中で起こる死に対する思いが心に刻まれていって、命と死は一体のものとしてあるということを学んでいくと思うんです。そういう体験がだんだん身近ではなくなってきたのも原因なのかなという気がします。

森岡 2歳の時、空襲警報が出て、防空頭巾を被って母親に抱かれて震えていたことを憶えています。戦争は怖いなという思いがあります。また以前は家族みんなで助け合う、地域で支え合うというのがあったように思いますが、核家族が多くなり、お年寄りも若い人も一人暮らしが増えて、人との繋がりを持てなくなった人が非常に多いです。昨年暮れ百歳以上生きている100人に「長生きの秘訣は何か」を訊いているNHKのテレビ番組がありました。皆さん共通しておっしゃる第一の秘訣は「繋がり」で、人は一人では生きてゆけない。人と繋がっていることが大事だとのことでした。逆に今の日本社会は孤独孤立の人が多くて、誰も相談相手や頼る人がいない、つながりのない人が多いのではないのでしょうか。孤独死が増えている、そして独りぼっちで生活している人の自殺率は家族のいる人の7倍だというデータもあります。いのちの電話にすがってくださる方が多くなっているのもわかります。

藤山 どうしたらこのような現状を乗り越えることができるのか、取り組まれている活動などいかがでしょうか。

橋村 人はみんな人類発祥から今まで繋がる血を受け継いでいるわけで、そういう過去からの長い繋がりと、今の時点のいろんな横の繋がりがあって存在しています。繋がりがなくてそこに在るということはありません。昔は「おかげさま」だとか、おじいちゃん、おばあちゃんだとか、そういう繋がりの中で感じられたことが、今は希薄になっているのかなという気がします。

社会のなかでそういう孤立や孤独に対してできることといえば、たとえば「いのちの電話」もそうだと思いますが、社会の役割と宗教の役割は重なり合っているものの、依ってるところが若干違っていると思います。お釈迦様の説話の中のお話で、自分の名前もすぐ忘れてしまうほどのものを覚えられないお弟子さんがおられて、どうしてこんなに覚えられないんだろう、周りの人にも迷惑をかけるので死んでしまいたいと思うぐらい苦しむんです。そんな時に釈迦様はほうきを1本渡して「塵を払わん、垢を拭わん、という二言だけ覚えて掃除をなさい」とおっしゃる。

何年も毎日その言葉を唱えながら掃除をしていて、結局「覚えられない」ということを苦しむ心が最後の塵だったんだと気がつくんです。「覚えられない」こと自体が苦しみのではなくて、周りの人や社会との関係の中で軽蔑されたくないとか普通に覚えられる人だと思ってほしいとか、「覚えられないこと」を苦しむ続けてしまう心を最後に掃き清めることができた。そういうことに気付ける道だとか環境に触れられるのが宗教の役割かなと思います。た



たとえばお寺に行けば「南無阿弥陀仏」と唱えられていたり、座禅をしておられたり、朝に神社や教会に行ったら掃除をしておられたりする。そういう環境に触れることを通して心が片付いていく。たぶん、「いのちの電話」で話を聞いてもらいながら心が片付いていくのと繋がると思うんです。

森岡 今、子どもたちの自殺率が非常に高いんです。日本の子どもは自己肯定感が低いと言われますが、その影響で自ら命を絶つことになってしまうのでしょうか。人はどうせ死ぬのになぜ生きなければならぬのかということとを私自身もいつも考えるんです。人は仏性というものがあって、人としてこう生きなければならぬとか、こういうことをやりたいとか、自分を高めてみたいとかそういう思いがあるから生きていけるのかなと思ったりするんです。

橋村 東大寺福祉事業団で関わっているのは、ほとんどが重症の心身障がいの子もたちで、命がととも危うい。だけどその子たちの様子を見ると、命があることがスタートで、命が保たれていてこそ反応したり、表情ができたり、考えたり、いろんなことが可能になるんです。生きていく前提が命なので、そこから何か心を起こす発心をして、自分はこういうことに関与できるんだとか、こういうことをすればこうなるんだという達成感を積み重ねていくことが、前向きに生きていくことに繋がると思います。

森岡 聖武天皇がこの世の中で苦しんでいる人たちを助けるために一枝の草でも一把の土でも持ってきて大仏を造るのに協力してほしいと願われて、自分もそれに加わってお釈迦様の慈悲にすがって生きていくんだという人たちの思いが結集されて大仏様が作られた。そういうことで一般の人たちも生きがいをもち、世の中の人たちを救っていくことに繋がったという話を小さい頃に教えられました。

橋村 そういう機会を社会も宗教も提供していけることが大事なんですよ。草も土もだけど、一紙半銭といって一枚の紙、割れた銅銭を寄進するという発心が受け入れられる機会があって、それが大仏様の体が変わるということに繋がったわけです。そうすると関わった嬉しさだとか、生きている尊さだとかが感じられる。今の世の中でもそういうことができるのではないかと思います。華嚴経は人間も天人々々も含めて迷いや欲を持っている人々への教えで、お釈迦様の教えを習ってやっていこうという菩提心を起こしてそこからいろんなことを積み重ねていくことでお釈迦様に認めてもらえる、それをみんなで体験しましょうという作り方がされているのです。

藤山 インターネットや SNS が普及して、それで人々が繋がっていくという社会になって、その繋がりで事件や事故になつたりしています。このインターネット社会とどう向き合っていきたいのでしょうか。

橋村 今は物が豊かになってお金さえあれば世界中のいろいろな物を手に入れることができます。それでだんだん物が占める場所が増えて、部屋の中が自分の座るところと小さ

なスペースしかなくなる。その中でよく断捨離なんて言いますが、物を片付けていくと、それによって自分の心も片付いていって、いろんなことができるようになる。物を片付けるといろんなことが効率的にできるようになって自分の時間を作ることができ、自分の夢が叶う。自分が幸せになってしたいことをするためには、物が整理されないとそういうことに繋がっていかないとということがだんだんと分かってきました。

情報社会も同じで、元々はこの世界を向上させるための善良な情報をいかにみんなで共有するかということから始まったけれど、今は良いものも悪いものもいっぱい山のように入ってくる。心を持った人間がその中で埋もれてしまって、正しいのか間違っているのか、誘導されているのかフェイクなのかも分かりづらい。情報は物と違って片付けたりおしまいというわけにいかないの、人として生きていくのにふさわしい環境にしていくための知恵を出していかないと手強いかなという気がします。

森岡 私もフェイスブックだけやっていますが、いい情報もあれば、とんでもないフェイクもあります。ネットの情報につられて闇バイトに関わったりする若い子がいますが、自分で情報をどうコントロールしていくのかということがとても大事だと思います。いのちの電話ではメール相談も受けていますが、相手の声も雰囲気もわからないなかで回答するのは非常に難しく、形として残るので苦労しています。

藤山 この情報社会でどういうことが一番大事なのか、知恵を出して見極めていくにはどうしたらいいのでしょうか。

橋村 そもそも自分がなぜそういう SNS に関わっているのか、自分がネットで書いているものはどういう心から出ているのかという本当の意図を自分の中でよく見極めていく姿勢が必要かなと思います。私も以前はホームページを作るとき、どういうふうに見られたいとかいろんな心理が動いて、時間と手間をかけていました。

ところが今はスマホで何でもできて、撮った写真もその場で出せてしまう。そんなに考慮する時間もないまま、いろんなことがコントロールされないまま、その時の感情のままに出せてしまう。必要があって出すものだけではなくて、自分の意図するちょっとした欲だとかを許して出してしまうと、それに対していろんな反応が寄せられる。するとその反応が気になって、自分を守りたいということになってまた出していくという悪循環から抜け出せなくなってしまふ。私もお寺として必要なことは告知するけれども、意図のある関わり方は今はしません。

森岡 15、6年前にブータンへ行きました。GDPではなくGNHだと言って世界中で一番幸せな国だと盛んに言われていて、皆さん幸せそうな顔をしていました。ところが近年ブータンの人達もスマホを持ち世界中の情報が入ってくるようになって、大人も子どもも幸せじゃなくなっているという話を聞きました。やはり SNS は良い面もあるけ

つなぐ 20

～ 子どもたちの声に向き合って～

チャイルドラインなら 理事 中谷 博幸

今年1月、厚生労働省から2024年の自殺者数（暫定値）が発表されました。それによりますと、全体の自殺者数は20,268人で前年より1,569人減ったものの、小中高生は14人多い527人で過去最多でした。

そのような中でチャイルドラインは、18歳までの子どもたちの「悩み」や「声」を毎日午後4時から午後9時まで全国69の実施団体がフリーダイヤルで聴いており、そのうち「チャイルドラインなら」は毎週木曜日午後5時から午後7時30分と毎週日曜日午後4時から午後6時30分を担当しています。

昨年度1年間に「チャイルドラインなら」が受信した件数は3,786件で、会話が成立したのは714件でした。ただ、無言電話が2,653件（全体の70%）あり、電話をかけたものの自分の気持ちを言葉に出来なかったり、相談することはダメなやつ、弱いやつと思われたくないなどの気持ちもあって切ったのではないかと見られています。

会話が成立した内容は、心の状態や恋愛、進路など「自分に関すること」が250件で最も多く、次いで、性行動や自慰、性器など「性に関すること」が173件、学校における人間関係やいじめ、学習、不登校など「学校に関すること」が163件、家庭における人間関係や虐待、両親不仲など「家庭に関すること」が84件などと続いていました。少数ですが、オーバードーズ（OD）やリストカットなどの自傷行為、虐待による自死念慮など深刻な内容もありました。

具体的には（プライバシーに配慮し内容を編集しています）、「友達と一緒にいたいけど気を遣い、疲れて不登校しています（小学女子）」、「虐待を受けています。だから将来、困っている人を助ける仕事に就きたいです（高校男子）」、「両親のケンカはやめて欲しいけど、怖くて言えません（中学女子）」、「ネットに友達の悪口を書いてしまいました。自分だと分かったら大変なことになると思うと怖いです（中学男子）」などの相談があり、誰かに聴いてもらいたい、傍に話せる人がいないので電話したという姿が窺えます。

電話をかけてきた子どもたちに「世の中には分かってくれる人もいるんだ」、「自分もこのまま生きていていいんだ」ということを感じてもらいたいと願いながら、全国のチャイルドラインと提携し、これからも活動を続けていきたいと思っています。

（協会前事務局長）

れど悪い面もあるなという思いがします。

橋村 華厳経では「三界唯心」といって、心を持っている人が生きている三界というのは心によって描かれている。

「心如工画師（心は巧みな絵師の如し）」という言葉があって、世界というのは人の心が描いている。それは物が無いということではなくて、森岡先生が見ておられる絵と皆さんが見ておられる絵と私が見ている絵はたぶんみんな違う。そしてそれは自分の心が描いているんだけど、必ずしも自分が描いたようではないという苦しみがある。世界も他者も描いたようにはならない。

それを苦しみにする心が根本原因で、そこから生まれてきたいろんな苦しみが実際の社会や人間の中にあるわけです。元のその苦しみを作る心自体のことがわかれば、その先の枝葉の苦しみが解決につながるというのが唯心偈の意味なんです。そういうことを知ってもらう機会を作るのは宗教の役割でもあると思います。

藤山 「奈良いのちの電話」は50周年に向けて活動を始めますが、それに対する期待と課題をお聞かせください。

橋村 自分の命を絶ちたいと言われるのは、できれば生きてやっていきたいということのネガティブな最大表現でもあると思います。何回も話を聴いてもらっていくなかで何かが整理されてきて、本当は生きたいということに気づける機会になるように続けていってもらったらありがたいです。聴いた方も聴いていく中でそういうことに繋がったということで、それがお互いの心に刻まれることによって、よい生き方にも繋がっていく、そういう形があるように思います。

森岡 いのちの電話というのは本当に重い責任を負っていると改めて感じています。ところが全国的にも相談員ボランティアをやろうという人が年々減ってきて奈良でも心配な事態になっております。それにこの活動を支えるのに我々の「奈良いのちの電話協会」は年間2千万円ほど必要で、その大半を寄付金に頼っています。相談員を増やすこと、資金を集めることが私共に課せられた非常に大きな課題であり努力しているところです。今日まで365日24時間休むことなくこの態勢を続けてきてくださった先輩方の努力を絶やしてはならない。そして、生きづらさを抱えている人達、孤独孤立で悩んでいる人、苦しんでいる人達などが「いのちの電話」に電話してよかった、これで生きて行ける、話を聴いてくださってありがとうと言ってくれるような人が一人でも増えることを願っております。

藤山 今日は大切なお時間をいただきまして、本当にありがとうございました。



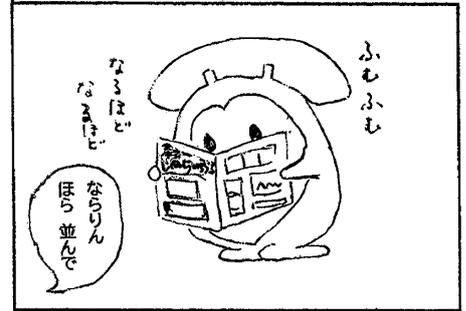
オンライン研修
“自死遺族の支援を考える”を受講して

2月9日（日）に“自死遺族の支援を考える”というテーマで、NPO 法人自死遺族支援ネットワーク Re 代表の山口和浩氏の講演をオンラインで受講した。

国の自殺対策において、自殺を未然に防ぐだけではなく、遺族への支援も盛り込まれる中、遺族の心理についての話が心に残る。一つは、自殺予防が強調されると遺族は「なぜ自分は大切な人の死を止められなかったのか」という自責の念に苦しむということ。もう一つは、自殺者は追い詰められて自殺以外の方法が思い浮かばなくなるという心理的視野狭窄に陥ってしまうことを知ることで、遺族は「どうして私たちのことを考えなかったのか」という苦しい気持ちから少しだけ楽になるということ。

遺族の心の回復に必要なこととして、『自分一人じゃないという実感』と『他の人はどのように乗り越えようとしているのかを知ること』の二つが心に残る。身近な家族よりも「安全な第三者（体験がなくても気持ちをわかってくれるような他者の存在）」がより話しやすいことも多いと話された。

安全、安心、信頼の中で遺族が自分の気持ちを語れる場の提供をめざして、私たち奈良いのちの電話は、よりそいの会あかりで「自死遺族のつどい」を開催している。（K・O）



研修会参加報告

1月20日（月）「配偶者等からの暴力被害者支援協議会」（奈良県主催）に参加した。

近年、配偶者等からの暴力が社会問題化しており、配偶者等からの暴力被害者の保護及び自立支援が大きな課題となっています。配偶者等からの暴力は重大な人権侵害であり、心や体に大きな傷を与えるだけでなく生命の危険に至ることがあります。被害者の自立やその児童の健全育成を図る上で、住宅・就業・経済面等様々な支援を行うことを目標とした協議会です。

昨今被害者は、増加しているが、センシティブな問題が根底にあり、なかなか支援に結びつきにくい現状があります。そんな中で人権福祉、保健医療、司法等各関係機関が試行錯誤しながら取り組んでいます。

（K・S）

近ごろ、SNSやメールなどを使ってのコミュニケーションが多くなった。とても便利なツールであるがどこか一方通行的、機械的なものを感じて物足りなく思うこともある。声は温かく、声の後ろに潜む気持ちも伝わる。言葉を交わすことで相手と繋がっていると感じて、安心する。そう気づき、考えると「今日はコーラーの声、言葉を大切に受け止められたらどうか？」と反省するばかりである。

「では、またお電話してきてくださいね」今も電話をかけてきてくださっているだろうか。

相談の中で感じたことを紹介したもので、実際の相談内容とは異なります。

随想

相談の現場から
人の声が聞きたい

何年前のことになるだろうか。

T・U



「はい、奈良いのちの電話です」「ああ、やっと人の声を聞いた。4日ぶりや...」コーラーのこの第一声が今もはつきりと聞こえてくる。70代半ばも過ぎてはいるだろう女性で、一人暮らしのうえ、近所付き合いもない。定期的に訪問してくれる看護師さん以外は訪れる人もほとんどいない。お天気や日常のことなどを20分ほど話して終えたが、同じように受話器を置いたであろうコーラーの姿が浮かんで来て、しばらくじっと電話機を見ていた。一人暮らしには慣れてはいるが人恋しくなる。人の声を聞いて自分がまだ人と繋がっていることを確認したい、という気持ちをひしひしと感じた。

日本ののちの電話連盟近畿ブロック
合同研修会に参加して

昨年8月台風接近のため延期されました、近畿ブロック合同研修会が2025年1月11日（土）に開催され奈良センターから5名参加してきました。今回の開催地は和歌山市で、研修テーマは「自分を高めよう！お互いを磨こう！ーセルフ・コーチングとピア・コーチング」でした。

相愛大学人文学部准教授 坂田真穂先生からコーチング（目的地まで馬車で送り届けるように、その人が望むあり方〈目標〉にたどり着く〈達成する〉よう支援すること）の基礎スキルについて講義いただき、ピア・コーチング、セルフ・コーチング（自分が望むあり方にたどり着くよう、自分自身を導くこと）についてグループワークなどアクティブラーニングを中心に学習しました。

また、各センターとの交流会では、相談員同志の繋がりを保っていくにはどうしたらよいかなどの課題について意見交換し、奈良センターの「ワイガヤ交流会」を紹介したところぜひ取り入れたいとのお意見をいただきました。また奈良センターは施設や研修も充実しており、何より相談員のモチベーションが高いとの感想を頂き誇らしく思いました。

辛く苦しい気持ちを抱えるコーラーさんと向き合う仲間が全国にいることを、心強く感じた一日でした。（S・Y）

● 研修参加報告 ●

『死にたい』言われたら…
ロールプレイを通した相談支援研修

2月1日、名古屋市中小企業振興会館吹上ホールに於いて、奈良から14名参加した。

研修の第1部はライフリンク代表の清水康之氏の講義、第2部はロールプレイを行った。講師より「死にたい」と言われたら何が困るのかという問いがあった。「死にたい」と言われれば「死なないでください」と返したくなるが、それは「死んでほしくない」という自分の都合に過ぎない。治療できない難病の耐え難い苦しみから「死にたい」という人に対して、苦痛を長引かせるだけのよう誰にも言えない。「死なせないことが最終目標ではない」という言葉が印象に残った。

では「死にたい」と言われたらどうすればいいのか。その人の「死にたい気持ち」はどういうものなのか、本当に伝えたいことは何なのかを理解して傾聴し、気持ちを聴く。大事なのは、その人のことをわかってと一所懸命になること。そして自分にできる限りのことをやって、相手が「わかってもらえた、わかってしてくれる人がいた」と思ったのなら、もしその人が自殺してしまったとしても、私たちは自責の念にかられる必要はないのだ、と学んだ。

30～40歳代の参加者が多く、熱心にロールプレイする姿に感銘を受けた。また話を聴くことと気持ちを受け取ることの大切さを再認識できた有意義な研修だった。（M・A）

差別と自死を考えるシンポジウムに参加して

2月15日（土）大阪市内にて行われたシンポジウムに参加しました。

第1部は東京都立大学憲法学教授の木村章太氏の講演がありました。差別とは人間への否定的評価・蔑視感情であり、差別の悪性は対象を貶めるところにある。様々な行為に差別が顕れる。自死は差別の対象になっていないか。自死は「自分で選択した」当人の自己責任として事故死とは異なる扱いをされる。遺族へのプライバシーの無配慮や、住居等が事故物件扱いされ遺族が損害賠償請求をされることもある。では女性や障がい者、自死への差別解消のためにどうすればいいのか。生じやすい差別を列挙し差別に名前を付ける。名前がないということは差別がないのと同じだからである。

自死が差別の引き金になることへの理解を広めることが差別解消になるとのお話を聞かせていただいた。

第2部は自死遺族等の権利保護研究会の弁護士と記者のパネルディスカッションだった。主催者の全国自死族連絡会の方が「遺族は突然遺族になる。自死者は遺書を残していることが多い。今までたくさんの遺書を読ませてもらったが、恨み、つらみが書かれた遺書に出会ったことがない。みんな『ありがとう』や『ごめんなさい、すみません』と自分を責める言葉ばかり。追い詰められて、追い詰められて、どうしようも無くなって自死を選んでしまう。自死者や遺族への差別があってはならない」とのお話に胸が詰まった。（M・M）

新春交流会

1月12日（日）新春交流会がホテルリガール春日野にて65名の参加で開催されました。新年に亡くなられた川上範夫先生に黙祷を捧げたあと、森岡正宏理事長は年頭のご挨拶をされ、いのちの電話へ思いを語られました。そのあとは美味しいお酒と食事をいただきながら、協会内活動グループによるマジックやフラダンスを楽しみ、33期生のみなさんによるアトラクション「チーム対抗クイズ大会」のNIDクイズやイントロクイズで盛り上がり、ホールは大きな笑い声に包まれました。そして「あの素晴らしい愛をもう一度（NIDバージョン）」の合唱のあと、恒例の干支にちなんだ今年のスローガン「みみすまし いろんな電話もしっかりと 巳（み）んなの心で支えよう」の発表が行われました。最後は田中啓義評議員のご挨拶で締め括られ、心温まるひとときはお開きとなりました。（M）



かわかみのりお
川上 範夫氏 ご逝去



当協会の研修委員長 川上 範夫先生が1月7日ご逝去されました。協会設立当初から現在に至るまで、事業の基礎作り、相談員の資質向上のための研修や他センターに類を見ない充実した相談員養成講座のカリキュラムの作成、自死遺族の支援事業専門アドバイザーなど当協会のために惜しみなくお力を注いでいただきました。改めて事業貢献へのお礼を申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



ご支援

ありがとうございました



2024年12月1日～2025年2月28日（敬称略・あいうえお順）

上記の期間に次の方々からご支援を賜りました。感謝をもってご報告させていただきます。

年会費

天谷 正	近畿日本ツーリスト(株)奈良支店	中島 伸佳	山口 純子
有山 喜七郎	近鉄ファシリティーズ(株)	長浜 秀哉	山田 和彦
(株)イカルガオート	倉本 ユミヨ	中村 弘	山田 敬子
市田 智代	黒田 卓美	中山 彰	山田 守宏
今尾 裕美	(医)鴻池会	奈良キリスト教会・親愛幼稚園	大和郡山ライオンズクラブ
入部 美津子	国際ソロプチミスト奈良	奈良県護国神社	(株)陽光ファーム21
(株)いわれ	後藤田 明弘	奈良県中学校校長会	和田林 道宣
植田 仁士	小西 伸尚	奈良トヨタ(株)	
上原 竊	小西 勝	弁護士法人ナラハ奈良法律事務所	特別寄付
江崎 洋史	小林 悟	(株)奈良保健衛生社	あいあいさろん
(医)桜翔会 中辻医院	近東 佐恵子	南都銀行 監査部	飯田 栄子
(株)オーケー	笹尾 正道	(株)南都銀行 西大寺支店	加藤 照美
(株)尾河 Le BENKEI	(株)三光丸	廣岡 茂樹	(株)岸本総合コンサルティング
奥西 正博	清水 順高	福本 雅之	榊原 文子
奥野製作所	杉本 秀一	船谷 晴夫	高橋 ゆかり
小野 富美子	瀬川 敬紹	本多 浩治	千房(株)
角谷 武典	徂徠 おさむ	松田 佳之	中華料理 福の虎
角谷 晴行	高島 伸也	松本 正則	津守 法子
勝美 緑	高松 富博	水野 輝久	鳥取 桂子
辛島 勸	田中 浩二	宮崎 和彦	奈良いのちの電話協会友の会
河野 正雄	田原 久義	宮崎 美和子	丹羽 昌枝
木口 朗子	中條 章夫	森中 智子	藤村 綾美
(株)岸本総合コンサルティング	辻中 正子	保田 満佐子	モリイユミ
北畠 まち子	堤 千恵	藪内 章良	


資金ボランティアとしてご協力ください

協会の活動には、養成研修、教育訓練、施設管理などで年間約2,000万円の運営費が必要です。

その大半は、法人や個人の方々からのご寄付によって支えられており、毎年資金ボランティアとして、下記の額をご協力いただいています。

法人・団体 会員	10,000円以上	個人会員	5,000円以上
	30,000円以上		10,000円以上
	100,000円以上		30,000円以上

* 税制上の優遇措置があります。
(所得税の一部控除、住民税の一部減額)

ご寄付の振込先

社会福祉法人 **奈良いのちの電話協会**

- [1] 銀行振込 南都銀行 西大寺支店 ①0062135
[2] 郵便振込 00980-6-38575


クレジットカードによる寄付窓口を開設しました。

下記の寄付受付窓口にてご寄付をお願いします。

寄付フォームのURLは <https://syncable.biz/associate/nara-nid/donate> です。



🌸 広報誌「紙齢400号」おめでとうございます 🌸
協会役員一同

理事長 森岡 正宏

広報担当の皆様感謝しています

副理事長 田中 耕造

紙齢400号誠におめでとうございます

評議員
佐伯 俊源

年輪増す如く協会も太くなることを祈
念します

評議員
安井 宏一

広報誌は文化交流の重要な役割を務め
てきた。一衣帯水、悠久の歴史を

常務理事
岡 努

“眠らぬダイヤル”
広く、深く伝え続けます

理事・財務委員長
近東 宏佳

人との対話が人を癒します。
400号誠におめでとうございます

運営委員
宮本 しげ子

400号おめでとうございます

友の会会長
宮本 しげ子

歴史を紡いで45年余、ますます実のあ
る広報誌で社会にアピールを

評議員選任・解任委員
高橋 みのり

“継続できる”素晴らしいことですね。
おめでとうございます

倫理苦情処理委員長
北條 正崇

400号ご発行誠におめでとうございます

養成委員長
小出 久美子

400号ご発行おめでとうございます

子育て支援委員長
藤岡 新昌

広報誌400号誠におめでとうございます

評議員・広報委員長
朝廣 佳子

400号おめでとうございます。関わられて
いるすべての方に感謝と敬意を表します

友の会副会長
畠中 和子

継続は力なり みんなで頑張りよう

評議員選任・解任委員 宮代 トシ子

監事 津山 恭之 監事 曾根 宏之

理事 原 まさ代 理事 上原 夏子 理事 川田 靖之

自殺予防委員長 神澤 創

📩 特別寄付ありがとうございます 📩

学校法人奈良大学

理事長 浅川 正美

400号記念号発行、心からお祝い申し上げます

株式会社桶谷ホールディングス

代表取締役 桶谷 晃弘

400号おめでとうございます

徳融寺

住職 阿波谷 俊一

400号おめでとうございます

特定非営利法人きみかげの森

理事長 森岡 正宏

尊い奉仕活動に感謝しています

櫻乃庵有限会社トレンディー

代表取締役社長 森岡 正宏

生きづらさを抱えている人達に希望を与えられる
よう今後も頑張ってください

三和建設株式会社

代表取締役社長 小林 伸嘉

紙齢400号誠におめでとうございます

奈良県信用保証協会

会長 村井 浩

祝400号 貴協会の益々の発展を祈念しております

正木商事

代表取締役 正木 康雄

長年にわたるご活動に敬意を表します

橿原神宮

宮司 久保田 昌孝

一本の電話で繋がる命。400号おめでとうございます

飛鳥ゴルフクラブ

取締役社長 岡山 孝次

いつまでも続けてください。命を守るために！

広陵町

町長 山村 吉由

今後ますますのご躍進を心よりお祈りいたします

おがわ歯科クリニック

理事長 小川 淳司

400号発行おめでとうございます

世界遺産 元興寺

住職 辻村 泰善

大切な菩薩行に感謝します

奈良セントラルライオンズクラブ

会長 松本 守史

永年の活動の一助となることを祈念いたします

広報大使ならりん

がんばります



奈良県信用金庫協会

会長 中村 正徳

400号おめでとうございます

マーシュ総研株式会社

社会福祉法人 萌

ハート株式会社

高田木材協同組合

イドタフレスコ株式会社

奈良県高等学校 PTA 協議会

公益財団法人奈良県労働者福祉協議会

奈良経済同友会

エヌシーバス株式会社

奈良県護国神社

医療法人新生会総合病院高の原中央病院

三和住宅株式会社

日赤生駒市有功会

北野木材株式会社

小山サービス株式会社

奈良こころの相談室

近鉄車両エンジニアリング株式会社

一般社団法人奈良県経済倶楽部

奈良県防衛協会

国際ゾンタ奈良ゾンタクラブ

圓照寺 門跡

株式会社松田組

広報誌「紙齢400号」おめでとうございます
 私たちも奈良いのちの電話を支援しています

さあ、万葉の時へ。 **近鉄**

大阪・奈良・京都を結ぶ、
観光特急「あをによし」

日本エコロジック株式会社
 〒633-0066 奈良県桜井市西之宮129番地の5

- ・ 一般貨物自動車運送事業
- ・ 特定信書便事業
- ・ 不用品回収整理事業

創業1980年 信頼と実績

引越・配送の事ならいつでもご相談ください
0120-43-5066

やすらぎの環境を
 優しくサポート。

— 清潔と安心をお届けして132年 —

寝具リース（レンタル）・販売
 業務用クリーニング/リネンサプライ
 福祉用具レンタル・販売/介護用品販売
 介護住宅リフォーム

小山株式会社
 〒630-8131 奈良市大森町 47 番地の 3
 TEL 0742-22-4321
 www.koyama-kk.co.jp

WEBサイト

PLUS CROWN CROWN CROWN HARRIER

奈良トヨタ株式会社
 奈良 本社 〒630-8141 奈良市南京終町 2-269 番地
 田原本 本社 〒636-0226 磯城郡田原本町唐古 296 番地

sienta NOAH VOXY COROLLA CROSS YARIS CROSS

お車のことならなんでもお気軽に **0120-288-770**

スマホサービス **KEK**

858円(税込)/月 ~

※SIMカードのみの月額利用料です。

AQUOS sense9

サービスについて詳しくは

KCN お客様センター
 0120-333-990
 9:00~17:30(年中無休)

設計・監理 上田壽子建築設計室 一級建築士 上田壽子
 〒630-8113 奈良市法蓮町417-1-506 TEL 0742-34-8624 FAX 0742-34-8604

能登の地震には2024年お正月からびっくりしましたね。10月に七尾市入りしました。お寺とコミュニティセンターでの住宅相談会。左の写真は和倉温泉のとある旅館の前。建物にひびは入っていますが、びっくりしたのは道路と敷地の境界線上にある「グレーチング」がこのようにひしゃげていました。また能登地方は瓦葺きの屋根が多く、それがほとんど黒の釉薬がかかった屋根です。内部も柱・長押（なげし）などは漆塗りです。2年前に建てられた家もこの通り屋根が落ち、建物が傾いています。基礎や擁壁はどうだったのか？疑問です。

広大な天然芝のロケーション **県下最大級**
飛距離300ヤード

- ・ 全110打席
- ・ ツーピースボール使用
- ・ 無料レンタルクラブ
- ・ 女性専用パウダールーム
- ・ ファミリー打席

営業時間
 平日 9:00~23:30
 土日祝 7:00~23:30

住所
 奈良市奈良阪町2624-1

TEL
 0742-26-1061

高の原ゴルフセンター

人間ドック・脳ドック・企業健診・特定健康診査
 《救急・労災指定》
 (公財) 日本医療機能評価機構 認定病院
社会医療法人 松本快生会

西奈良中央病院

心の医療をもって 地域住民に貢献する
 〒631-0022 奈良市鶴舞西町1-15
 ☎ 0742-43-3333 (代表)
<https://www.nishinarachuo.or.jp/>

